

I 学校の概要

- 1 名称 静岡県伊豆の国市立大仁小学校
- 2 所在地 静岡県伊豆の国市三福325番地
- 3 位置 東経138度56分 北緯35度03分 海拔 33 m
- 4 地域の概要

伊豆の国市（平成17年4月1日に合併）は伊豆半島のほぼ中央部にあり、箱根から天城に連なる稜線をもって熱海・伊東・伊豆市と接し、西はほぼ狩野川を境に旧伊豆長岡町に、南は旧修善寺町、北は旧菰山町に接している。自然面においては、源を天城山に発する狩野川は、田方平野の平坦部をゆるく北流し、東部玄岳から巢雲山に至る稜線西側の水は、深沢川となって西流し、三福・田京において狩野川に合流している。

交通面では、三島と修善寺を結ぶ伊豆箱根鉄道が狩野川と並行して南北に走り、「大仁」と「田京」の2駅を設け、約15分ごとに電車が運行され通勤通学の足となっている。国道136号線も電車に並行して三島・下田間を通じている。また、田京から分岐して三津・沼津に通ずる大仁～三津線と、同じく田京から分かれて田原野から東海岸宇佐美にぬける県道大仁・宇佐美線が通じている。伊豆中央道が修善寺まで通じており、縦貫道と一体となって交通の便は良い。

5 学区の概要

本校学区は、大仁・吉田・神島・中島・三福・田京（一部）・田中山・旧東小学区（平成22年度に統合）の各区からなり、伊豆の国市の南部を占めている。旧東小学区は亀石峠まで占め、田中山地区の子どもたちと共にバス通学をしている。

学区内の戸数は若干の増加が見られるが児童生徒数は減少している。すなわち核家族化が進んでいる訳であり、それに伴って地域のつながりも希薄になりつつある傾向にある。また、放課後児童クラブを利用する家庭も多く、平成27年度より4年生まで受け入れを始めている。

本校には隣接して旭化成ファーマ株式会社や大仁駅の近くに東芝テック、国道沿いに大型商業店舗等はあるが、就業の多様化・広域化により、保護者の就労状況は広域化しており、母親の就労率も高い。こうした核家族化・価値観の多様化・都市化等の進行に併せて、保護者の教育や躰に対する考えも様々で、それに起因する問題点も表面化してきている。このことは、本校の教育に対する考え方や教育課程に影響を及ぼしている。

しかしながら、保護者は、総じて学校教育に対して協力的であり、学校教育に期待していることも事実である。必要以上の過保護傾向や子どもに対する無関心・放任といった問題も併せて、個々へのより丁寧な対応で期待に応えていきたいと考えている。

6 沿革概要

| | |
|-------------|-------------------------------|
| 明治5年6月3日 | 学制を制定 |
| 明治6年6月1日 | 創立・61番吉田学舎を吉田村に 57番齋身学舎を御門村に |
| 明治12年4月1日 | 吉田舎・田中舎併せて田中尋常小学校と称す 修業年限4年 |
| 明治27年4月1日 | 高等科併設。修業年限4年。田中尋常高等小学校と称す |
| 明治41年4月1日 | 小学校令改制 尋常科6年 高等科2年となる |
| 明治41年 | 校歌制定 |
| 昭和15年12月10日 | 大仁町制施行により、大仁尋常高等小学校と校名変更 |
| 昭和16年4月1日 | 国民学校令制定 大仁町大仁国民学校と改称 |
| 昭和23年4月1日 | 田中山分教室を、大仁小学校田中山分校と改名 |
| 昭和41年12月20日 | 鉄筋コンクリート3階建1期工事竣工（東校舎） |
| 昭和44年10月4日 | 第2期工事竣工（西校舎） |
| 昭和48年9月6日 | 体育館竣工 |
| 昭和59年4月1日 | 大仁北小学校分離独立 |
| 昭和63年9月26日 | 「狩野のみどり子」除幕式 |
| 平成元年3月30日 | 校歌碑建立 |
| 平成4年7月 | ふれあいルーム工事 |
| 平成6年8月29日 | 体育館・プール竣工 |
| 平成16年8月 | コンピュータ室改修工事、2・3階廊下床改修工事等 |
| 平成17年8月 | 家具固定工事、体育館外壁・塗装工事（西側北側）塗装工事等 |
| 平成18年9月 | 体育館側面塗装工事 |
| 平成20年3月 | 田中山分校閉校 |
| 平成22年4月1日 | 伊豆の国市立大仁東小学校と統合 |
| 平成23年8月 | 校舎東面・南面外壁塗装工事 |
| 平成24年7月 | 校舎西面・北面外壁塗装工事 各教室壁掛け扇風機設置 |
| 平成28年4月 | 特別支援学級（自・情）新設 教室改築工事(平成28年3月) |